

AC・Net ニュース

NO. 148

2007年

3月9日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

春色の候、皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

先日行われました第164回AC・Net例会には多数の参加をいただき、ありがとうございます。

さて、次回3月の例会は、兵庫県先端情報通信技術推進会議共催で「社会ネットワーク科学の最前線」をテーマに講演を下記の通り予定しておりますので、皆様ふるってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

☆ 3月例会のお知らせ

日時： 2007年3月30日（金）15:00～17:15

会場： ラッセホール 5F「ハイビスカスの間」
神戸市中央区中山手通4-10-8

講演会： 「関係を制する - 今、そこにあるフロンティア」

安田 雪 氏

東京大学大学院経済学研究科 特任助教授
社会ネットワーク研究所 所長

「ネットワーク科学と関係データマイニング」

山田 武士 氏

NTTコミュニケーション科学基礎研究所
協創情報研究部 創発環境研究グループ
グループリーダー 主幹研究員

懇親会： 17:30～18:30 B1F「パンジーの間」

☆ 次回例会のお知らせ

4月の例会はお休みさせていただきます。

平成19年度総会・特別講演会を、5月30日（水）14:30～15:15（総会）・15:30～17:00（特別講演会）大阪新阪急ホテルにて開催いたします。詳細については次号でご案内します。

第165回 AC・Net 例会（3月30日）

共催：兵庫県先端情報通信技術推進会議
協賛：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

【講 師】 安田 雪 氏

東京大学大学院経済学研究科 特任助教授
社会ネットワーク研究所 所長

【演 題】 「関係を制する - 今、そこにあるフロンティア」

【概 要】

関係を制するものはマーケティングを制する。これは、昨春、私がマーケティング学会のジャーナルに書かせていただいた言葉である。だが、これはもう古い。現在の私は、マーケティングに限らず、関係を制するものはきわめて広い研究領域の最先端を制することができると考えている。ネットワーク科学の進展速度は速い。米国陸軍のゲリラ対策マニュアルから、電子メールログを活用した組織診断、「彼氏の元カノのモトカレ」すなわち交際連鎖のネットワーク、SWの推定の過大・過少など、ネットワーク分析2.0ともいうべき、新しいネットワーク分析の研究事例を紹介し、私が最近、扱っているさまざまなネットワーク構造の抽出、計量、応用研究と今後のビジネス展開の可能性について議論したい。

【略 歴】

1986年3月	国際基督教大学教養学部卒業
1993年5月	コロンビア大学大学院社会学部博士課程修了(Ph.D.)
1990年9月～1992年3月	国際基督教大学教養学部非常勤講師
1993年9月～1994年3月	立教大学社会学部非常勤講師
1993年9月～1995年3月	駒沢大学文学部社会学科非常勤講師
1994年4月～1995年3月	立教大学社会学部専任講師
1995年4月～1999年12月	立教大学社会学部助教授
1999年10月～2000年3月	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部非常勤講師
1999年12月～現在	社会ネットワーク研究所所長 取締役社長
2004年2月16日～現在	東京大学大学院経済学研究科・ものづくり経営研究センター 特任助教授

ほかに厚生労働省 厚生科学審議会生活衛生適正化分科会 委員、経済社会学会 日本経済学会連合評議員、組織学会 大会企画委員・高宮賞専攻委員などを兼任

専門分野： 社会ネットワーク分析(Social Network Analysis)／組織社会学／産業社会学／ネットワーク組織／産業構造／企業集団／キャリア分析 など

会員： 日本社会学会／数理社会学会／組織学会／経済社会学会／

American Sociological Association International Network for Social Network Analysis

【講 師】 山田 武士氏

NTT コミュニケーション科学基礎研究所
協創情報研究部 創発環境研究グループ
グループリーダー 主幹研究員

【演 題】 「ネットワーク科学と関係データマイニング」

【概 要】

世の中に存在するデータの多くは、データ間の相互作用や関係に着目することによって、ネットワークもしくはグラフとして表現することができます。特にインターネットのように大規模なデータを効率的に解析するためには、個々のデータのミクロな解析よりも、データ間の関係性に着目したマクロな解析が効果的です。本講演では、ネットワーク全体の構造的特徴の抽出や、未知の関係の予測、さらには可視化など、最近ネットワーク科学として注目されている基本的な解析手法を踏まえて、さらに、機械学習手法に基づく関係データのマイニング手法の最近の話題について説明します。

【略 歴】

昭和 63 年 3 月東京大学理学部数学科卒業。同年 NTT 入社、情報通信研究所勤務。
平成 8 年より 1 年間英国コベントリー大学客員研究員。

現在、NTT コミュニケーション科学基礎研究所、創発環境研究グループリーダー、
主幹研究員。

主としてネットワーク解析、機械学習、データマイニング、メタ戦略による組合せ最適化等の研究に従事。博士（情報学）。情報処理学会、電子情報通信学会、ACM、IEEE 各会員。



*AC・Net1月講演会 ～講演会のアンケートから～



演題：「移動通信を巡る最近の動向」

講師：総務省 総合通信基盤局

移動通信課長

奥 英之 氏

- 電波利用の全体的な現状、今後の方向性を分かりやすく解説していただき、よく理解できた。今後も定期的に情報提供していただきたい。



- UWB の発展に期待しています。
- 現状が明快に理解できて大変参考になった。
- 社会で多く用いられている携帯電話や無線 LAN に関する周波数割当について今後の予定の話もあり、興味深かった。信頼性や安全性についての今後の対応を期待したい。
- 携帯電話の将来など移動通信を巡る最近の動向がよくわかりました。

演題：「ユビキタス医療の実現のための先端情報通信技術（医療 ICT）」

～産学官連携による医療 ICT コンソシアム～

講師：横浜国立大学 未来情報通信医療社会基盤センター センター長

横浜国立大学大学院 工学研究院 教授

(独) 情報通信研究機構 次世代ワイヤレス研究センター

医療支援 ICT グループ グループリーダー

河野 隆二 氏



- 医療の面からの先端技術の話聞かせていただき、大変よかった。実際の普及までにはまだまだいろんなバリアがありそうだが、楽しみでもある。
- 社会問題対策とビジネスモデルが非常にバランスよく提示されていて、大変興味深く聞く事ができました。
- 予想しなかった ICT の発達、高齢化社会に今後の応用を楽しみにしています。
- ICT と医療の関係について、深く R&D されていることに感服した。
- 日本の医療分野全般が遅れていることから始まって全般的に大変参考になった。当分野の益々の発展を期待したい。
- 情報通信技術の医療への応用として、マクロな政策的提案として期待できる。医学会における保守的な体制の変革を促す好機と考えられる。このためには医師が自ら ICT を活用する姿勢が必要である。
- 新分野の解説が明快であった。
- 最先端の情報をご紹介いただき、ためになった。

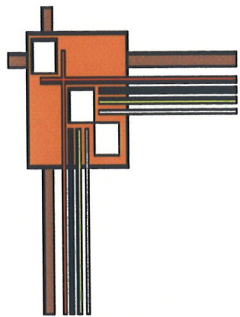
【事務局から】「関西先端研究センター」は「未来 ICT 研究センター」に名称変更しました。

- 事務局の受付時間は平日(月～金)午前 9:00～午後 5:00 となっております。不在の場合はファクシミリ又はメールにてメッセージをお送りいただければ、事務局から折り返しご連絡させていただきます。

転任やメールアドレス変更など、会員名簿情報に変更がある場合は、その都度事務局までお知らせください。



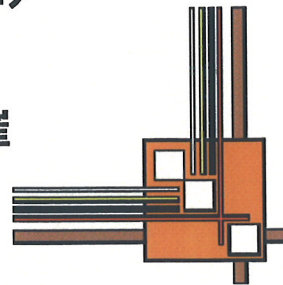
〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2
 独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究センター内
 TEL 078-969-2132 FAX 078-969-211934
 E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp
 ホームページ www-karc.nict.go.jp/ACnet



情報通信技術研究交流会(AC・Net)

第165回例会のお知らせ

兵庫県先端情報通信技術推進会議共催



情報通信技術研究交流会
運営委員長 益子 信郎

記

1. 日 程 2007 年 3 月 3 0 日 (金)
2. 会 場 ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4 - 1 0 - 8
TEL. 078-291-1117 ・ FAX. 078-291-0333
3. 講演会 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 1 5 5F「ハイビスカスの間」

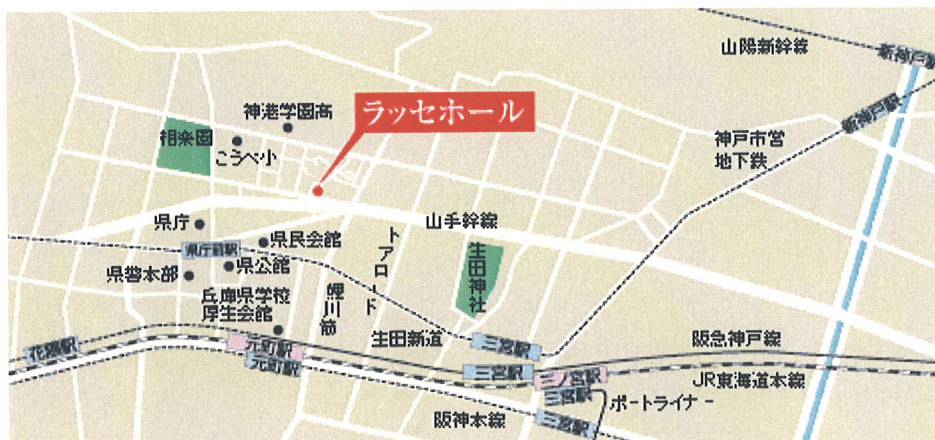
「関係を制する — 今、そこにあるフロンティア」
東京大学大学院経済学研究科 特任助教授
社会ネットワーク研究所 所長
安田 雪 氏

「ネットワーク科学と関係データマイニング」
NTT コミュニケーション科学基礎研究所
協創情報研究部 創発環境研究グループ
グループリーダ 主幹研究員
山田 武士 氏

4. 懇親会 1 7 : 3 0 ~ 1 8 : 3 0 B1F「パンジーの間」

5. 会場までのご案内

- 神戸市営地下鉄
県庁前駅より徒歩 5 分
- JR、阪神元町駅より徒歩 8 分



宛 先 : 情報通信技術研究交流会 (AC・Net)事務局
(E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp ・ FAX: 078-969-2119)

200 年 月 日

3月30日 (金) 第165回 AC・Net 例会参加申込み 兵庫県先端情報通信技術推進会議共催

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会協賛

会 場: ラッセホール 「ハイビスカスの間」(講演会)・「パンジーの間」(懇親会)
〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8
TEL. 078-291-1117 ・ FAX. 078-291-0333

講演1: 「関係を制する ― 今、そこにあるフロンティア」
東京大学大学院経済学研究科 特任助教授
社会ネットワーク研究所 所長
安田 雪 氏

講演2: 「ネットワーク科学と関係データマイニング」
NTT コミュニケーション科学基礎研究所
協創情報研究部 創発環境研究グループ
グループリーダー 主幹研究員
山田 武士 氏

下記の通り参加を申し込みます。

	該当のところに○をご記入ください。	例会(講演会) 15:00～17:15	懇親会 17:30～18:30
氏 名			
所 属			
種 別	AC・Net会員	兵庫県先端情報通信技術推進会議会員	けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会会員
			非会員

例会無料。懇親会のみAC・Net会員外の方は2000円を当日会場で徴収させていただきます。

・その他事務局への連絡事項

・今後の講演でご希望(講師・テーマ)等があればお書き下さい